

法務総合研究所研究部報告

7

—犯罪被害の実態に関する調査—

2000

法務総合研究所

は し が き

法務総合研究所研究部が平成11年度に実施した「犯罪被害の実態に関する調査」の結果とこれに基づいて行った分析結果を、ここに研究部報告第7号として刊行する。

本調査は、犯罪被害者又はその遺族の、被害の実態や被害回復の状況を明らかにするとともに、被害者等の意識や刑事司法機関に対する要望を把握することを目的として実施したものである。調査は、有罪判決の言渡しがあった殺人等の10罪種に係る事件の被害者及びその遺族に対するアンケート調査の方式によって行われた。

その結果、殺人等及び業過致死の遺族については、そのほとんどが多様な精神的影響を受けていること、強姦及び強制わいせつの被害者については、その多くが多様な精神的影響を受けているだけでなく、強い恐怖心を感じていること、その他の罪種の被害者についても、大部分が何らかの精神的影響を受けていることなど、犯罪被害の深刻な実態が明らかとなり、他方、被害者及び遺族が刑事司法機関に対して有する様々な希望・不満の内容も明らかになった。

さらに、本報告においては、実態調査の結果に基づき、様々な統計的手法を用いて、事件によって被った精神的・生活面への影響に関連する要因・被害感情に関連する要因等の分析を行っており、その結果、罪種によって異なる様々な要因が、犯罪被害が被害者に及ぼす影響の大きさや被害感情の融和の程度に関連していることが明らかとなった。

今日、犯罪被害者の問題に対する社会的関心が高まっており、刑事司法機関においても、民間団体等においても、被害者の救済に向けて様々な取組が行われているが、本報告が、有効かつ適切な被害者施策を講じる上でいささかでも寄与することができれば幸いである。

最後に、本調査実態に当たって御協力を賜った法務省刑事局及び全国の検察庁の関係各位に対して、深く謝意を表する次第である。

平成12年3月

法務総合研究所長

頃 安 健 司

「犯罪被害の実態に関する調査」研究報告書

研究官	安東	美和子
研究官	吉田	研一郎
研究官	濱井	浩一
研究官補	染田	惠
研究官補	栗栖	素子
研究官補	岡田	和也
研究官補	橋本	三保子

目 次

はじめに	5
第1 調査の概要	5
1 調査の目的	5
2 調査対象者	5
3 調査実施方法等	6
(1) 実施手続	6
(2) 質問項目等	6
(3) 有効回収総数	6
第2 調査結果	7
1 回答者等の属性	7
(1) 殺人等及び業過致死	7
(2) 傷害等, 業過傷, 窃盗, 詐欺等, 強盗及び恐喝	9
(3) 強姦及び強制わいせつ	10
2 調査対象となった事件の概要	11
(1) 加害者の属性	11
(2) 加害者と被害者の面識の有無及び関係	12
(3) 犯行場所等	12
(4) 財産的損害の有無・総額	12
(5) 傷害の有無・程度	15
(6) 犯行態様	16
(7) 事件発生から本調査実施までの経過期間	17
3 事件による影響	18
(1) 精神的影響の有無	18
(2) 精神的影響の内容	20
(3) 生活面での影響の有無・内容	25
4 事件後の謝罪, 示談, 賠償金支払等	31
(1) 加害者側からの謝罪の有無・方法	31
(2) 示談の成否・内容	34
(3) 賠償金の支払の有無・金額・支払者	38
(4) 保険金の受領状況	44
(5) 民事訴訟の提起状況とその理由	48
5 報道の受け止め方	51
6 捜査・刑事裁判に関する認識等	55
(1) 捜査協力の負担	55
(2) 証人出廷の負担	64
(3) 刑事裁判を傍聴した際の感想	67
7 裁判結果その他の情報の認識等	69

(1) 裁判結果の認識	69
(2) 捜査・裁判上の加害者に関する情報について	75
8 被害感情	75
(1) 加害者に対する感情等	75
(2) 罪の償いに関する認識	80
9 捜査・裁判に対する要望等	81
(1) 情報提供	81
(2) 捜査に対する要望等	83
(3) 刑事手続における被害者等の地位等について	83
(4) 刑事手続における意見表明	84
(5) 加害者側からの謝罪・賠償金の支払等について	84
(6) 被害者等の保護の要望	84
(7) その他の要望	84
10 調査結果のまとめ	84
(1) 事件による影響, 謝罪・被害回復の状況及び被害感情	84
(2) 捜査・裁判に関する認識・要望等	86
第3 調査結果に基づく統計的分析	87
1 事件により被った精神的・生活面への影響に関連する要因	87
(1) 精神的影響	87
(2) 生活面への影響	114
2 被害感情に関連する要因の分析	122
(1) 被害感情に関連する要因ごとの分析 (χ^2 検定)	122
(2) 被害感情に関連する要因についての総合的分析	187
第4 おわりに	194
資料	199